

子どもの教育に対する親の投資意欲の構造

白川 俊之

広島大学大学院人間社会科学研究科

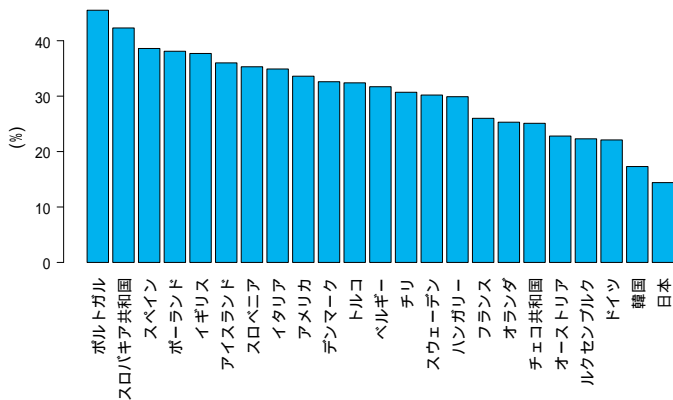
2021年8月18日(水)

オンライン開催

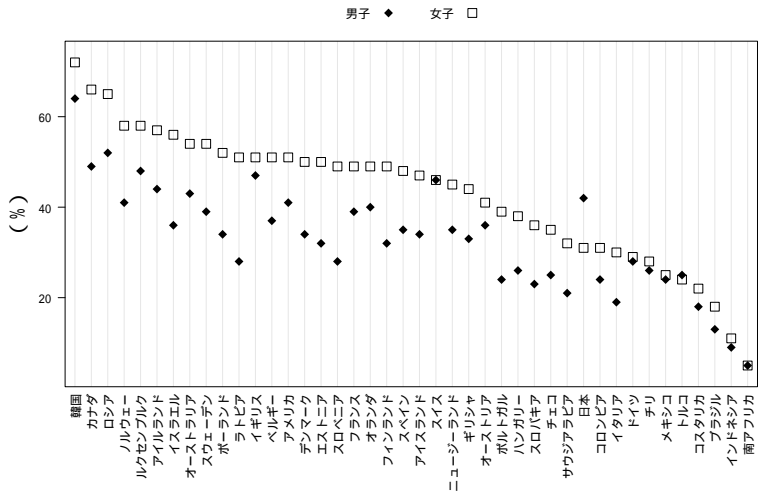
ジェンダード・イノベーション～一人ひとりが主役の研究開発が
新しい未来を拓く～

研究者の女性割合

UNESCO 統計, イギリス・アメリカ・韓国と日本は総務省資料.
2010-12



25～34 歳層に占める高等教育修了者の割合

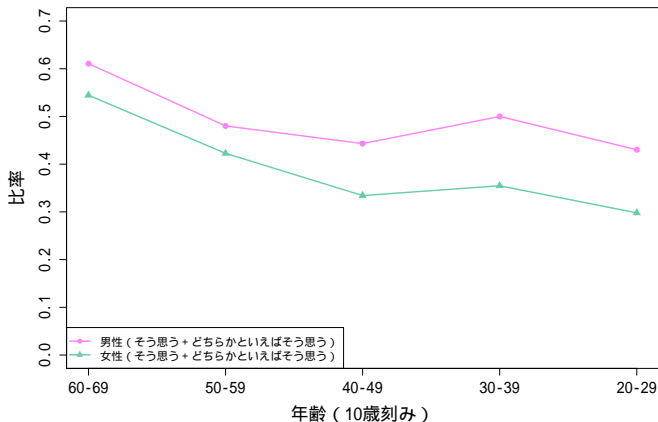


ジェンダー差の背景

- 男女の教育に対する親の意識の違い
- 進学のパッシュ・プル要因
- 労働市場における女性差別の実態
- 性別役割分業を前提とした社会化の過程

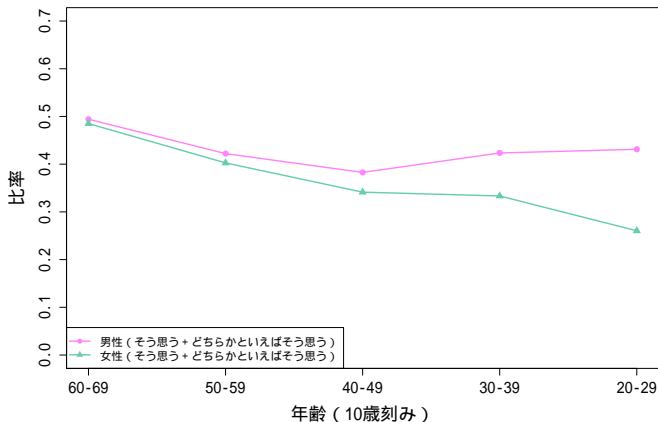
男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである

1995年SSM調査，B票



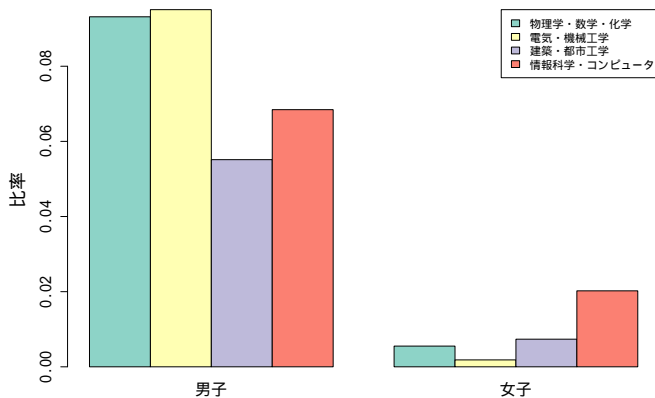
男の子と女の子は違った育て方をすべきである

1995年SSM調査, B票



大学進学後，子どもに学んでほしいこと

高校生と母親調査，2012



Key Takeaways

- 女子の教育を男子の教育よりも低くみる傾向は、最近の親の間では弱い
- 子どもをどういう分野で学ばせたいかは、子どもの性別により明確な差
- 背景に数学を「男性の領域」とみなす強いステレオタイプ
- 社会や時代が異なれば、ステレオタイプも変わる。アメリカでは女子の方が数学が得意だという意見もそれなりにみられる (Riegle-Crumb & Peng 2021)

謝辞

- 〔二次分析〕に当たり、東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター SSJ データアーカイブから〔「高校生と母親調査，2012」（2012 年高校生と母親調査研究会）〕の個票データの提供を受けました
- 本研究は JSPS 科研費特別推進研究事業（課題番号 25000001）に伴う成果の一つであり，SSM 調査データ使用にあたっては 2015 年 SSM 調査データ管理委員会の許可を得た